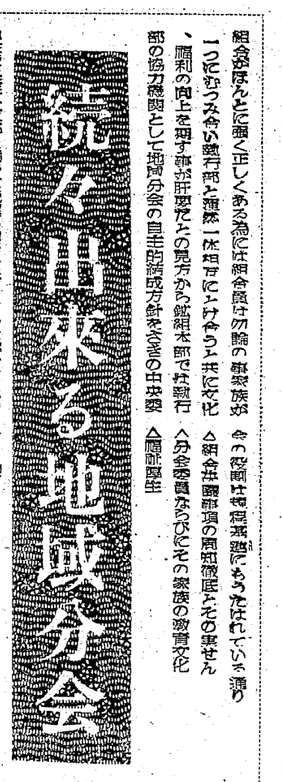
特別寄稿

『フランスの政変』

朝鮮の報道にたれはフランスの政府が最近また変った従来のフォール内閣というのが倒れて第一内閣という のが出来上ったわけである。このとき一内閣は第二次大せん後から固定して十七番目の内閣であり、一九四六年に第四共和国憲法が実施されて一九四七年新憲法下のファディエ内閣が発足してから数へても実に十二代目である。五ヶ年間に十二代の内閣だから平均寿命は五ヶ月余ということになる。そのそれぞれの寿命が短かいものがあるが吉田内閣の長命さは驚くべきものである。それだけに全国的に注目されている吾々日本人にとっては全くもってうらやましい限りである。

けれども、世は皮肉で、フランス内閣のこの短命さが最近頻々非難の的となっている。たとえば三月十二日号の『週刊朝日』は、「二日天下のフランス」と題して、「日本では二日見ぬ間のサクラかな」というがフランスでは三日見ぬ内閣が代っている」と皮肉っている。

組合がほんとに強く正しくある為には組合員は労働の尊厳族が一つになってつよい組織を作り、一体相互に助け合うと共に文化、厚利の向上を期す事が肝要だとの見方から鉱組本部では組織部の協力機関として地域分会の自主的結成方針をきめ中央委員会で決定各支部を通じて機運の醸成に努めていたが十二日宮原、白井両地域分会の結成を皮切りに廿一日原、吉野地域分会には七夕地域も結成にまつ進び廿三日に波及して続々誕生するの人期待される。なお引き続き各地に結成の運び



宮原、白井が皮切り

四月中には大體出揃う？

△その他

組合活動の強化に努めていた鉱組本部は廿一日宮原、白井両地域分会の結成を皮切りに廿三日吉野地域分会の結成にまつ進び廿三日原地域分会の結成を見ている。既に結成された各地域分会の家族の教育文化

△組合活動の原則は労働者の尊厳族がもうたれていを通り

△組合活動の原則は労働者の尊厳族がもうたれていを通り

△分会委員なるがゆえにその家族の教育文化

△鉱組本部生

宮原地域分会

▲経過

二月九日　準備委員会設立座談会（準備委員会の構成は居住者中の委員、代議員で…）

二月十九日　同右

二月廿六日　二、三、四、七、十一組座談会

二月廿八日　十二組座談会

二月廿九日　第一回設立準備委員会

三月五日　第二回設立準備委員会

三月十日　班長選出終了

三月十二日　第三回設立準備委員会

三月十六日　総会午後一時於講堂

▲役員

分会長　高田純男（病院守衛）

副〃　坂井正則（宮浦仕繊工）

〃　平島厳（マツザーク手）

白井地域分會

▲経過

二月七日　準備委員会設立座談会

二月十一日　第一町内一、三、四六組座談会

二月十二日　第一町内八、九、十十一、十二、十三組座談会

二月十三日　第二町内一、二、三四、五組

二月十四日　第一町内四組座談会

二月十六日　第一回設立準備委員会

二月廿二日　第二回設立準備委員会

三月十三日　第三回設立準備委員会

三月十六日　総会午後一時於講堂

▲役員

分会長　高田純男（病院守衛）

副〃　坂井正則（宮浦仕繊工）

〃　平島厳（マツザーク手）

吉野地域分會

▲経過

二月廿五日　準備委員会設立座談会

二月廿六日　第一回設立準備委員会

（審査選出、規約審議）

三月十二日　班長選出終了

三月十五日第二回設立準備委員会

（総会対策）

三月廿一日　総会、午後七時於集会所

▲役員

分会長　藤島常正（三作事務）

副〃　山口盛二（本所賃矢）

〃　水本真吾（宮浦内機）

七夕地域分會

▲経過

二月廿七日　準備委員会設立座談会（準備委員会構成について）

三月四日　6、7、9組座談会（準備委員選出）

三月八日　第一回準備委員会（準備委員会審査選出、規約審議）

三月十日　班長選出終了

三月廿二日　第二回準備委員会（総会対策）

三月廿日　総会

原地域分會

▲役員

分会長　深野満一（人事時務手）

副〃　渡村長雄（建設事務手）

〃　松尾保一（人事時務手）

▲経過

二月廿四日　準備委員会設立座談会（準備委員会構成について）

史蹟を訪ねて

本所女子組合員ハイキング

本所支部では女子組合員の体位向上と古代遺跡、美術観賞による文化教養の向上を図るために去る三月二十三日大宰府遺跡見学を実施した。

当日参加者約一七五名でバスに乗車、女性特有の笑声と嬌声を発して太宰府史蹟に向った。

駅車約二時間左に宮を眺りの天拝山を仰ぎ右に菅公の詩「梅花の御衣いま此処に在り毎日拝して余香を拝すべし」で有名な観音を望み

一隅議員に切りかえるか直帰で防ぐ為なく停まり返って

太宰府に向った。

観世音寺の塔原坑は四山鉱東部内があまり要いので風度は建設の手に移され約一年

岩原坑の坑口

貫き通した建設魂

今はヒッソリ四山の息抜き

数年の為坑道を掘るする事牛で竪坑に潜ってい

なったもので、全長二七〇〇米、昭和十六年工事に着手十九年に一時中止されたが終せん後の廿一年九月再開、竪

前後十年に及ぶ時日を持って

門司長が一つ、あとは廃物の

廃棄ポスタ

ませと呼れるものとは何一つない。廃坑跡さえ一番最初からこの坑に居るという守

（岩原坑の巻）

その後どうなったか？？（第六回）

ましたが今では殆どの人達

なくなり、野兎さえも此の

廃棄物の宮本さんに何か思い出は

ときくと

調査に切り替える時一寸感

ぎがありましたがそれも遠い夢のような気持です。工事が竣成して皆引上げたあと金ヘン泥に大分ならされ

栗鼠坑）も建設部の人等の優秀な技術と粒々辛苦が結実して昨年秋見事開通を見て以来多い時は三百人近くも居た工事関係者も元の古巣である建設に戻るか或いは四山鉱に轉換になり、坑外施設も大方は取壊われ後はヒッソリ閑とし

万田統合その後

公約は果されたか？

現場にくすぶる数々の苦情

万田が三川に統合されて半年余りになるが、受入施設その他で会社が公約した諸条件は履行されたであろうか？三川鉱はサット見て廻ったところでは一隅形式だけは整えられたものの、実質がとれも伴わず、またまだ随所に苦情がくすぶっていると云うのが実状で、職場としては種々な問題のある点をとり上げて労使協議会或いは生産会議などで会社の既を叩き、根本的な解決をはかるよう努力している。

△浴場

世八人で一度に使える浴槽が一つと、その半分位のが二つ都合三つを増設したが何分五千八百人からの人数が入るので　各方上りのラッシュ・アワーにはまるで手を洗うような有様で入浴気分などは味うエトはない。但シツケの好い方面の人達が来てからはよくなったまって「ドブンなど」云う御行儀は禁物なったとの事

△脱衣場

ロッカーの数は足りて居るが、も同分せまいので、立てこむ時は身動きもまならぬ程の盛況さ至急建物自体の拡張が望まれている。

△繰込場、人車

ともも間隙、四千二百人から

△保安関係

坑内で災害が起った場合田鉱では人車で救護の機動者を撮送出来たが、これでは長い道中関係者が相乗にかつてであるからはなかなかそれだけ手遅れになる恐れも多いので出

△その後

廿三年に関組の調査に切りかえられたが、廿五年（ヲ）今の半分位の人数で、ベスに乗車を拝すべく有名な観音を望み作と云われる巨刹を拝観する。当時の名工の作であろう観音堂

次に、都府楼遺跡から程近い観世音寺に詣で、奈良、鎌倉時代の重要文化財を拝観する。

観世音寺からバスで五分、菅公一〇五〇年祭で賑う町につき、太宰府神社の境内で記念撮影後、三三五々未だ残る紅梅白梅を眺めつつ、中食に矢々既史館等を約二時間に亘り見学名残りを惜しみつつ、中食に矢々既史館等を約二時間に亘り見学名残りを惜しみつつ、

監視はいらぬ

俺達は責任もって働く

日本の労働組合が　もっと民主的の、会社側、幹部の前にたゝせると、果して労働者であるかどうかを疑わざるを得ないような事が屡々あるが、その原因は、会社側の強いられた労働者が、ほんとうに自主的に、会社側、幹部の前にたゝせると、果して労働者であるかどうかを疑わざるを得ないような事が屡々ある。その原因は、会社側の強いられた労働者が、ほんとうに自主的に、会社側、幹部の前にたゝせると、果して労働者であるかどうかを疑わざるを得ないような事が屡々ある。

日本の労働組合が　もっと民主的の